

「令和6年度老人保健健康増進等事業」の採択について

厚生労働省が募集した標記補助金に応募したところ、下記の通り採択の内示がありました。

記

【事業名】

地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域包括ケアシステムの構築状況の把握と分析に係る調査研究事業

【事業実施目的】

当調査研究事業では、地域包括ケア「見える化」システムで提供されているデータ及び情報を活用して、関東信越厚生局管内の自治体が地域支援事業の実施状況を把握・評価し、施策を検討するうえでの有用な手法を整理するとともに、複数の指標を組み合わせることで、どういった分析が可能であるかなどの実例を検証するなどして、見える化システムのさらなる活用方法について考察し、報告書にまとめる。

【事業概要】

「見える化」システムは、地域包括ケアシステムの構築に関する各自治体の様々なデータ及び情報が提供されており、それらのデータを効果的に組み合わせることで、各自治体が、地域包括ケアシステムの構築状況の把握、評価を行い、今後の地域支援事業の展開や見直しを検討するためのツールとして最適である。また、見える化システムは、都県が広域的な視点から、同規模自治体間の比較を行うなど、市区町村支援をきめ細かく行う上でも非常に有用である。

しかしながら、自治体の現状を見ると見える化システムが有効に活用されているとは言い難い状況であると考えている。

ついては、本調査研究事業の目的を達成ため、次のように事業を計画する。

①調査検討委員会の設置、②アンケート調査、③地域包括ケア「見える化」システムのデータ分析、他データ等との連動に関する考察、自治体での実証、④データ及び情報を使用した管内の地域分析結果資料の作成、⑤報告書の作成、管内の自治体を対象とした報告会の開催

【事業実施予定期間】

令和7年3月31日まで

【担当教員】

地域連携センター 吉田俊之教授 ほか